

README

---

Copyright RICOH JAPAN Corporation. 2010, 2023, All rights reserved.

このたびは、本製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。  
ご使用の前に、取扱説明書と併せて必ずお読みください。  
本書は改良のため、予告なしに変更する事があります。

他社所有名称に対する表示

- ・ Microsoft, Windows, Windows Server, Visual C++ は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Adobe, Acrobat, Adobe Reader, PostScriptは、米国Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ SVF, SVFX-Designer, EUR, Universal Connectは、ウイングアーク1st株式会社の登録商標です。
- ・ 日立製作所, uCosminexus, VOS3/LS, VOS3/US, XMAP, JP1/AJSは、株式会社日立製作所の登録商標です。
- ・ VMware, VMware vCenter Server, VMware Cloudは米国およびその他の地域におけるVMware, Inc. の登録商標または商標です。
- ・ Amazon Web Services, AWSは、米国その他の諸国におけるAmazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。
- ・ InstallShieldは、InstallShield Software Corporationの登録商標です。
- ・ Unicodeは、米国およびその他の国におけるUnicode, Inc. の登録商標です。
- ・ RICOH, TotalFlow, Prinfina, PDFダイレクト, RPCSは株式会社リコーの登録商標です。
- ・ その他の会社名および製品名・ロゴマークは各社の商号、商標または登録商標です。

略称説明、記憶容量の表記については取扱説明書(本編)の「はじめに」を参照してください。

記載項目

1. 動作環境
2. 前提プログラム
3. 関連プログラム
4. メモリ所要容量およびディスク占有量
5. 機能追加内容
6. 修正内容

---

1. 動作環境

取扱説明書(本編)の「1.4 動作環境」を参照してください。

---

2. 前提プログラム

- ・ RICOH TotalFlow Print Operating Manager – Base-P01 1.3.6以降

---

3. 関連プログラム

- 3.1 ユニククライアントを使用する場合
  - ・ RICOH TotalFlow Print Operating Manager – Extension-P02 1.3.6以降
- 3.2 LB-F Seriesプリンターを使用する場合
  - ・ RICOH TotalFlow Print Operating Manager – Writer-P09 1.3.6以降
- 3.3 Pro Series1プリンターを使用する場合
  - ・ RICOH TotalFlow Print Operating Manager – Writer-P10 1.3.6以降

- |  |         |
|--|---------|
| 3.4 Pro Series2プリンターを使用する場合                            |         |
| ・ RICOH TotalFlow Print Operating Manager - Writer-P11 | 1.3.6以降 |
| 3.5 Pro Series3プリンターを使用する場合                            |         |
| ・ RICOH TotalFlow Print Operating Manager - Writer-P12 | 1.3.6以降 |
| 3.6 SP Seriesプリンターを使用する場合                              |         |
| ・ RICOH TotalFlow Print Operating Manager - Writer-P13 | 1.3.6以降 |
| 3.7 KD Seriesプリンターを使用する場合                              |         |
| ・ RICOH TotalFlow Print Operating Manager - Writer-P18 | 1.3.6以降 |
- 

#### 4. メモリ所要容量およびディスク占有量

- ・ メモリ所要容量：8GB以上
  - ・ ディスク占有量
    - プログラム用：約6MB
    - システム連携ログ用：400MB
- 

#### 5. 機能追加内容

##### 5.1 「1.3.5」から「1.3.6」での機能追加

- (1) TotalFlow-P0 Base 1.3.6に対応しました。

##### 5.2 「1.3.4」から「1.3.5」での機能追加

- (1) TotalFlow-P0 Base 1.3.5に対応しました。

- (2) Open System連携にてジョブの解析に失敗した場合、Windowsスプーラーにジョブが残り、P0サービスを起動するたびに連携処理時エラーが発生するため、解析に失敗したジョブを移動または削除する機能を追加しました。

- (3) PostScript帳票の解析処理の性能を向上し、ジョブの登録にかかる時間を短縮しました。

##### 5.3 「1.3.3」から「1.3.4」での機能追加

- (1) TotalFlow-P0 Base 1.3.4に対応しました。

##### 5.4 「1.3.2」から「1.3.3」での機能追加

- (1) TotalFlow-P0 Base 1.3.3に対応しました。

##### 5.5 「1.3.1」から「1.3.2」での機能追加

- (1) TotalFlow-P0 Base 1.3.2に対応しました。

##### 5.6 「1.3.0」から「1.3.1」での機能追加

- (1) TotalFlow-P0 Base 1.3.1に対応しました。

##### 5.7 「1.2.4」から「1.3.0」での機能追加

- (1) TotalFlow-P0 Base 1.3.0に対応しました。

##### 5.8 「1.2.3」から「1.2.4」での機能追加

- (1) TotalFlow-P0 Base 1.2.4に対応しました。

(2) 環境設定のジョブ属性群で設定可能な条件数の上限値を20から1000に拡張しました。

#### 5.9 「1.2.2」から「1.2.3」での機能追加

(1) TotalFlow-P0 Base 1.2.3に対応しました。

(2) 環境設定の各設定画面で、操作性向上のため設定画面のレイアウトの変更を行いました。また、設定画面によっては、画面の最大化およびサイズ変更を可能にしました。

(3) 部単位にジョブを分割して登録する機能を追加しました。

#### 5.10 「1.2.1」から「1.2.2」での機能追加

(1) TotalFlow-P0 Base 1.2.2に対応しました。

#### 5.11 「1.1.1」から「1.2.1」での機能追加

(1) TotalFlow-P0 Base 1.2.1に対応しました。

---

### 6. 修正内容

#### 6.1 「1.3.5」から「1.3.6」での修正

(1) ユーザー定義用紙名称を表示する場合に、PostScriptデータのジョブにおいてジョブ一覧画面の用紙サイズの幅と高さが逆になってしまう問題を修正しました。

#### 6.2 「1.3.4」から「1.3.5」での修正

修正内容はありません。

#### 6.3 「1.3.3」から「1.3.4」での修正

(1) P0サービス起動時の設定ファイルの読み込みで不正なメモリアクセスにより正常に起動できない場合がある問題を修正しました。

#### 6.4 「1.3.2」から「1.3.3」での修正

(1) メイン操作画面以外のTotalFlow-P0製品の操作については、リモートデスクトップ接続による操作をサポートするように制限を緩和しました。

(2) 新規にインストールすると、スプーラーサービスの再起動に失敗する場合がある不具合を修正しました。

(3) Open System Connector Option環境設定の「部単位にジョブ分割して登録する」を有効にしている場合、印刷データの受け付けのログが出力されない不具合を修正しました。

#### 6.5 「1.3.1」から「1.3.2」での修正

修正内容はありません。

#### 6.6 「1.3.0」から「1.3.1」での修正

修正内容はありません。

#### 6.7 「1.2.4」から「1.3.0」での修正

修正内容はありません。

6.8 「1.2.3」から「1.2.4」での修正

修正内容はありません。

6.9 「1.2.2」から「1.2.3」での修正

修正内容はありません。

6.10 「1.2.1」から「1.2.2」での修正

(1)Open System Connector Option環境設定において「ジョブをスルーモードで扱う」を有効にしても、保存時に無効になってしまう場合がある問題を修正しました。

6.11 「1.1.1」から「1.2.1」での修正

修正内容はありません。

— 以上 —